

# 岐阜農林事務所の普及活動状況

平成24年1月20日現在

## 今月の重点活動

### (アスパラガスの冬季管理を栽培指導)

岐阜地域の農産物直売所に出荷しているアスパラガス生産者を対象に冬期栽培講習会を開催した。2011年産は全国的な高温で不作だったものの、生産面積は拡大して販売数量は昨年実績を上回った。

アスパラガス栽培は比較的高額な初期投資が必要な上、定植から収穫までに約2年の株養成が必要。このため、新規栽培者にとって初めてとなる茎葉刈り取り、バーナーでの焼却、春からの生産安定と病害対策について指導した。

今後も高収入が期待できる長期取りの実現に向け支援を行っていく。



【写真 講習会の様子】

## 主要農作物の生産振興

### ■水稲 (来年度に向けたJAぎふ特別栽培米指導)

特別栽培米生産協議会の役員会が1月12日に開催され、今年度の栽培結果と来年に向けた栽培計画などについて検討を行った。農業普及課からは、今年実施した施肥試験の結果や来年度の栽培ポイントについて説明を行った。収量・品質はまずまずであったことから、来年度は特に大きな変更をせずに取り組むこととなり、128ha(前年比101%)の栽培を予定している。

### ■麦 (23年度全国麦作共励会及び岐阜県麦作共励会)

本巣市安藤重夫氏が全国麦作共励会で日本農業新聞会長賞、岐阜県麦作共励会で岐阜県知事賞の受賞が決定。全国は2月21日、県は3月2日に表彰式が開催される予定。

### ■かき 次年度に向けた間伐・剪定指導の実施!

各振興会では会員向けの間伐・せん定講習会が12月中に開催されたが、1月に入って会員の中で栽培経験が浅い等の生産者を対象(㊤ブランド柿育成クラブ、婦人部、基礎学習会等)にせん定講習会を開催し、技術の底上げを図るべく指導を行った。また、各地区では間伐支援のため、切る枝のマーキング指導を行っており、特に真正地区では振興会合併に伴う圃場環境整備の要望が強く、依頼も多い状況となっている。㊤柿振興会では1月28日及び2月中旬、瑞穂市柿振興会では2月22日、岐阜市かき共販振興会では2月下旬頃に間伐検査を実施する。さらに、産地維持のためシルバー人材センターの利用も増え始めており、本巣市では1月10日、瑞穂市では12月27日にせん定講習会で指導した。

### 次年度の防除こよみ検討

JAぎふ管内の柿振興会(5振興会)の防除暦の検討をJAぎふ果樹担当、資材課担当者等と1月10日に行った。現在は振興会毎に作成しているが、将来的にはJAぎふ管内1本化する方向で、防除回数、薬剤を出来る限り合わせるように検討した。今後、各振興会に説明し、印刷・配布していく予定。

## ■いちご

### （ぎふいちごとぎふクリーン農業PR活動支援 高岡市）

本巣地域園芸特産振興会いちご部会では、毎年主要出荷先の富山県高岡市で開催する、鍋祭りにあわせ、ぎふいちごのPR活動を行っており、本年は、国体のPRも兼ねて実施した。当日は試食用いちごの配布、ぎふクリーン農業のPRも行った。1月8日にNHK「産地発！たべもの一直線」という番組で本巣市いちごが放映されたこともあり、とても好評であった。



【写真】林会長からPR



【写真】国体とJAぎふのPR

### （青年部主体の農商工連携への支援）

岐阜市園芸特産振興会いちご部会では、青年部を中心にいちごの加工品づくりを進めている。しかし、自分たちだけでは良い商品が出来ないこともあり、地元のお菓子屋さんや、原材料販売会社、岐阜商工会議所や中小企業診断士、岐阜信用金庫などの協力を得て取組を進めている。

少しずつ商品化が出来つつあるため、2月4日、5日にマーサ21で行われる、「岐阜の美味しいものが食べたい！」という岐阜信用金庫主催のイベントで販売することとなった。

青年部では、商品の販売のほかに、生食用のぎふいちごのPRも計画をしており支援を行っていく。

## 担い手の育成・確保

### ■女性農業経営アドバイザー

#### （本巣市土貴野小5年生と農業交流会を開催）

1月17日に岐阜地域で営まれている農業（きゅうり・トマト、採卵鶏飼養、柿、鉢花栽培）や、農業で収入を得て生活する事について、農業の良さ・苦労等の理解を目的に農業交流会が実施された。5年生30名とアドバイザー17名がスライドやクイズ、実物展示、農産物加工品の試食等を交え交流を図った。「農業をしようと思ったら、まず何が大事ですか」といった質問に、アドバイザーの皆さんは「やろうという気持ちがあればできる職業です。日本の農業や世界の農業も知ることも大事ですよ。」と回答。その他質問も沢山あり、意義ある一日だった。

農業普及課では、小学校との連携や解りやすい説明資料の作成・プレゼンの方法等について支援をした。



【写真】展示農産物・農産加工品を見る児童